

寄贈品コーナー

展示替一覧

回	期 間	展 示 資 料	点 数
第9回	52年 2月1日～2月27日	籐織機、燈火用具	22点
第10回	3月1日～3月30日	村絵図・裁許絵図、三月節供飾り	18点
第11回	4月2日～5月15日	インパクト、五月節供飾り	25点
第12回	5月17日～6月22日	絵馬、竹の民具	37点
第13回	7月1日～8月3日	岩石と鉱物、教科書、千石船と羅針盤	62点
第14回	8月4日～8月30日	棹ばかり・楫	25点
第15回	9月1日～9月29日	水産加工用具(タタミイワシ・煮干し)	13点
第16回	10月1日～10月30日	足踏みミシン・手回しミシン、醤油造り用具	15点
第17回	11月1日～11月29日	桶と樽、自然を生かした民具(木製品)	31点
第18回	12月1日～12月28日	軸物、地図	19点
第19回	53年 1月5日～1月30日	タビの型紙、石をつかった民具	15点
第20回	2月1日～2月26日	ノコギリ・チョウナ、糸とりの用具	19点
第21回	3月1日～3月30日	版木(凧絵・養蚕野紙)、カメとトックリ	27点

博物館に寄贈された資料の紹介、および博物館資料に対する啓蒙、資料収集の協力の呼びかけを目的としている。1階展示室の最後のコーナーで、下表のような展示を行ってきた。

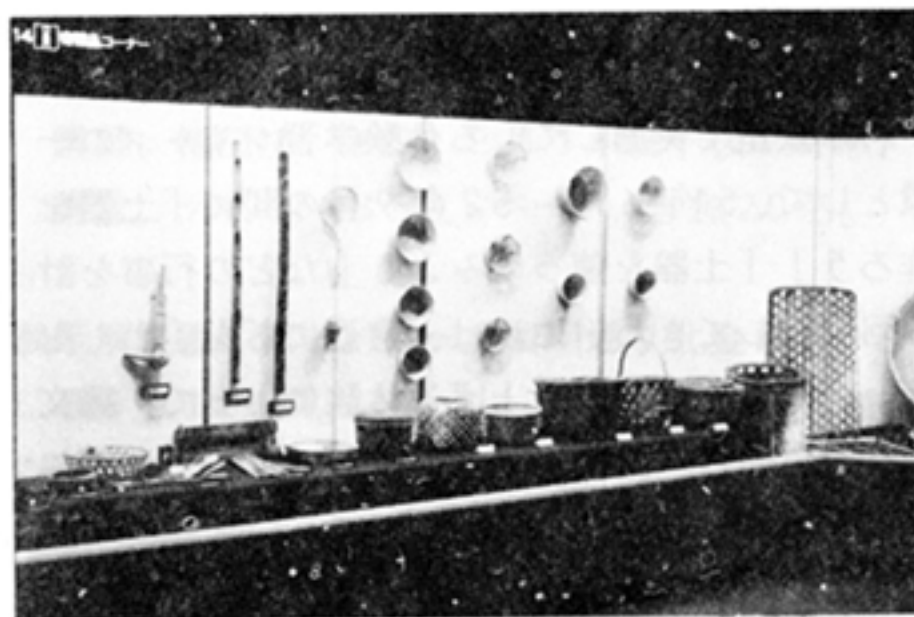
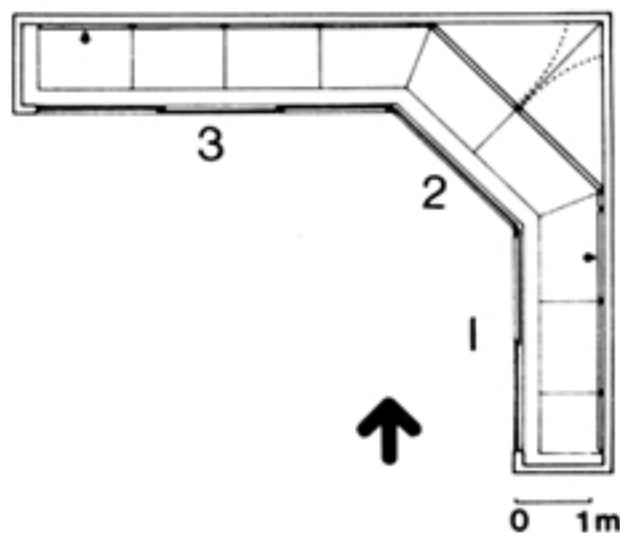
展示替えはほぼ1カ月ごとに行ってきたが、月末休館日を利用した。展示内容は季節や館行事等を考慮に入れるように努め、コーナーを2分ないし3分し、1区画ごとに関連資料をまとめて展示してきた。

展示ケースの平面図は下図のようになり、展示資料により①②③をそれぞれ分けたり、または①、

②③と2分して使用した。ケース内の壁面にはパネルが取り付けられているが、これはケースの天井から吊ってあるもので、前後に動く可動パネルである。中央の②の部分はパネルを壁面に寄せると三角形の広いスペースがとれるようになっている。このようにケースには可動的要素がとり入れてあり、多種の資料に対応できるような配慮がされている。

解説・ラベル等は担当者の手書きであるが、ラベルはアクリルを箱型にしたラベルケースを使い、これに差し込む方式をとっている。

平面図



第12回展示